

## ●防災ひとくちメモの解説

災害時に備え、ペットの日用品も備蓄しておきましょう。キャリーケースやゲージを安心して過ごせる場所として教えておくと、安心して連れ出すことができます。

- ・災害が起きたとき、ペットを守ることができるのは飼い主だけです。まず、飼い主が自身の安全を確保した上で、ペットの安全を守りましょう。
- ・建物に被害がなければ原則自宅避難ですが、ペットと同行避難が可能な避難所はポートアイランド内では「義務教育学校 港島学園」のみです。

### 同行避難とは…

「同行避難」とは、災害時に飼い主がペットを同行して避難所等まで避難することを指し、避難所等で飼い主とペットが同じスペースで過ごすことを指すものではありません。避難所等には、動物アレルギーのある人、動物が苦手な人、動物に不用意に手を出す幼い子どもがいることから、神戸市の避難所等では、原則、人の居住スペースと分けて運用し、飼い主とペットが同室で過ごすことはできません。



- ・避難所等にはペットの飼育に必要な物品は備蓄されておらず、飼い主が普段から準備しておく必要があります。安全に避難するための物品の他、少なくとも5日以上(できれば7日以上)の食料や物資を入れた「ペット用非常持出袋」を準備しておきましょう。

### 🐾 ペットを避難させるために必要な避難用品の例

🐶 犬の場合	🐱 猫の場合
<ul style="list-style-type: none"><li>・首輪とリード</li><li>・ケージ(屋根や扉のついたもの)</li><li>・犬用靴下やバンテージ</li></ul> (大型犬を歩かせて避難させる場合、がれきなどによる怪我を防止する)	<ul style="list-style-type: none"><li>・キャリーバッグやケージ(屋根や扉のついたもの)</li></ul>



「[ペットの防災対策](#)」(神戸市ホームページ)

## ●3月の地震発生状況

国土交通省 気象庁ホームページから引用  
震度5強以上の地震は発生しませんでした。



## ●プラザ防災対策委員会ホームページ

<https://bousai-kpp.net>

